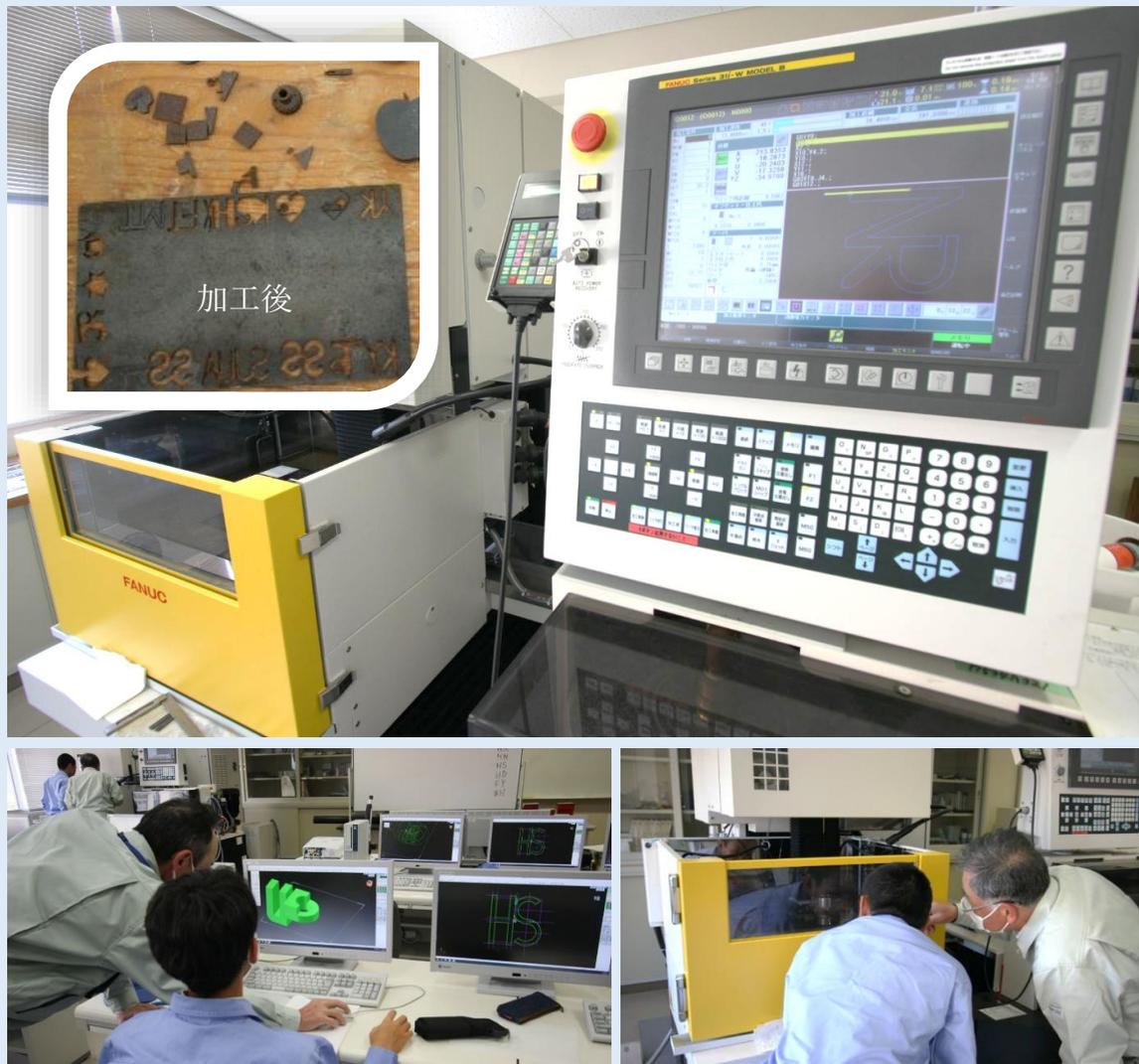


【機械・ロボット科3年】実習 ワイヤー放電加工



令和3年5月6日（木）、機械・ロボット科3年生の実習において、ワイヤー放電加工機を使用した金属加工を行いました。

ワイヤー放電加工機は、絶縁性を有する液体の中で電極（ワイヤー）と加工物の間にアークを発生させ、その熱を利用して工作物を溶融・除去する加工機です。切削では困難とされる薄い板（鋼板、ステンレス板、銅板、アルミ板など）の金属の加工から、超硬素材（焼入鋼・超硬・ステンレス・真鍮・インコネル・ダイスなど）まで、導電体であればどんなに硬くても高精度で複雑な加工が可能です。

実習では、自分のイニシャル CAD データを作成した後、NC データに変換し放電加工機にデータをインポートして鋼板を加工しました。